

環境共生都市“柏の葉スマートシティ”  
市民が公園整備に参加する「公園サポートプロジェクト」がスタート  
～ 東京ドーム約4個分の自然公園の活用へ 街づくり活動に新展開 ～

こんぶくろ池公園の管理運営を担うNPO 法人こんぶくろ池自然の森は、2014年4月に予定されている同公園内の広場ゾーンの暫定開放に向けて、柏の葉スマートシティの住民組織および立地企業・団体で構成する柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会と協力し、2013年6月9日(日)から、市民の方々の参加と協力により暫定整備を進めていく年間プログラム「公園サポートプロジェクト」を開始します。

こんぶくろ池公園は、2003年、柏市が学識経験者や周辺施設関係者、自然保護団体、市民委員などによる「こんぶくろ池公園環境創造会議」を設置し、公園整備方針・基本計画を策定した後、市からの委託によりNPO 法人こんぶくろ池自然の森によって管理運営が行われています。同公園は、「市民で育てる100年の森」をコンセプトとして、貴重な動植物が生息する森と湧水地を保全・再生するとともに、市民の憩いの場、自然体験学習の場としての活用も進んでいます。都市開発が進むエリアにありながら、東京ドーム約4個分となる18.5haの面積を有する広大な緑地帯です。

同公園は段階整備と一般公開を進めており、現在は、柏の葉キャンパス駅から離れた北西部の一部のみが開放されています。今般、駅周辺地区において住宅整備が進んだことなどから、関係機関で協議が行われ、当初計画より早い2014年4月に、駅から近い南東部の一部ゾーンが暫定開放されることになりました。これに向け、NPO 法人こんぶくろ池自然の森は柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会と協力し、同ゾーンの暫定整備と管理運営により多くの市民に協力・参加してもらう仕組みとして「公園サポートプロジェクト」を展開していきます。

「公園サポートプロジェクト」では、暫定開放予定地である広場ゾーンにおいて環境教育や美化・整備活動を行うとともに、交流会を通じて、広場の管理や使い方を考えます。また、幅広い参加を促すため、カブトムシ観察会や間伐材を利用した工作体験会など、親子で参加できるプログラムを予定しており、6月9日には当プロジェクトの説明会と第1回活動を実施します。草刈りや貴重植物の保護などの環境保全活動を行うことで、地域住人の理解を深め、公園の整備や管理運営に係る市民サポーターを増やしていきたいと考えています。

柏の葉スマートシティでは、環境負荷の少ないエネルギーシステムや交通システムなどの整備を進めるとともに、豊かな生態系や潤いある生活の基盤である自然環境の保全にも力を入れています。今後も、こんぶくろ池公園において、環境共生都市を目指す柏の葉スマートシティのシンボルとなる公園整備と管理運営を進めていきます。

<「公園サポートプロジェクト」枠組み>

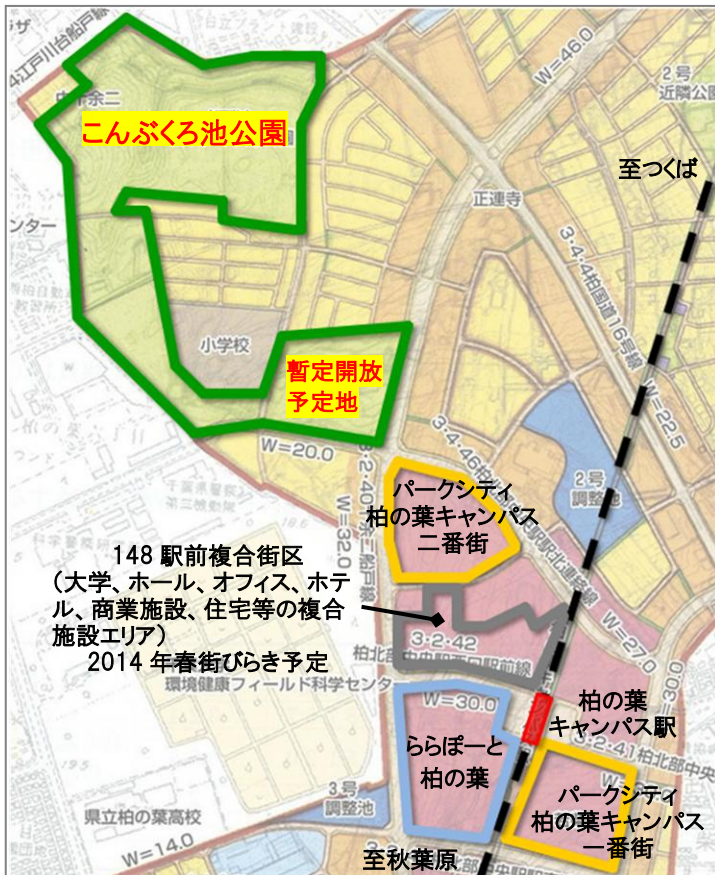


## こんぶくろ池公園の一部暫定開放について

現在、こんぶくろ池公園では、NPO 法人こんぶくろ池自然の森の 43 名の市民ボランティアにより、倒木の除去や散策路づくり、清掃活動などの全体整備が行われています。それに加えて、新たな活動対象となる暫定開放予定地については、さらなる市民の協力と参加を得ながら、整備並びに管理運営を推進していく予定です。

暫定開放は、「広場ゾーン」と「エントランスゾーン」の2ヶ所が対象となります。「広場ゾーン」は、こんぶくろ池公園の中で最大の広場となります。約 5,000 m<sup>2</sup>の面積を有する広がりのある空間を生かし、豊かな自然を持つ草地広場が整備されます。市民の憩いの場として、また、子ども達の遊び場として利用される予定です。「エントランスゾーン」は同公園の中で最も柏の葉キャンパス駅に近く、市街エリアから同公園への玄関口としての役割を果たします。

今後、柏の葉スマートシティでは、2014 年春に、大学やホール、オフィス、ホテル、住宅等の複合施設エリア「148 駅前複合街区」の竣工を控えています。定住人口や街への来訪者数の増加が見込まれる状況において、ますます都市の中でアクセスしやすい緑豊かな公園が必要になります。また、将来的に、新しい住民が加わった街づくりの活動拠点の一つとしても期待されます。



← こんぶくろ池公園  
総面積: 185,000 m<sup>2</sup>

- ↓ 内 暫定開放予定地
- ・広場ゾーン: 約 5,000 m<sup>2</sup>
  - ・エントランスゾーン: 約 200 m<sup>2</sup>



■ 現在の状況  
広場ゾーン



エントランスゾーン



## 「公園サポートプロジェクト」概要

- 【主催】 NPO 法人こんぶくろ池自然の森  
【協力】 柏市公園緑政課、柏の葉アーバンデザインセンター、三井不動産株式会社、柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会  
【活動場所】 こんぶくろ池公園 暫定開放予定地  
【活動予定】 6月9日(日) プロジェクト説明会／第1回活動(草刈り・交流会)  
6月23日(日) 第2回活動(草刈り、交流会)  
7月7日(日) 第3回活動(草刈り、七夕交流会)  
7月27日(土)～8月4日(日) 夏休み企画(期間中 工作教室4回・カブトムシ観察会2回を予定)  
10月27日(日) 秋のこんぶくろ池祭り(自然観察会、工作体験 等)  
※一回のみの参加も可能

### <プロジェクト説明会／第1回活動 概要>

- 【日時】 2013年6月9日(日)10:00～12:00 (9:30 受付開始／終了後 交流会を予定)  
【場所】 こんぶくろ池公園 暫定開放予定地  
【定員】 30組(小学生以下は保護者同伴)  
【内容】 ・貴重植物の保護、美観維持(ゴミのポイ捨て防止)を目的とした道路境界部の草刈り  
・暫定開放予定地の見学／公園整備計画の説明  
・公園サポートプロジェクトの説明  
【参加申込】 事前にEメールで「代表者名」「参加人数」を明記し、以下連絡先に申し込み  
・こんぶくろ池管理事務所 E-MAIL: furuisao@jcom.home.ne.jp



草刈り予定地(道路境界部)



公園に自生する貴重植物<キンラン>

### ■NPO 法人こんぶくろ池自然の森について

NPO 法人こんぶくろ池自然の森は、こんぶくろ池とその周辺の自然保全を通じた「住みよい地域づくり」の推進を目的に、市民が中心となり、学識経験者によるアドバイザー組織の指導・助言のもと、こんぶくろ池公園の管理運営をしています。地域の様々な団体と連携して、「里山活動」「調査・研究」「自然体験活動」など、森と人の営みを生かしたコミュニティづくりに関する活動に取り組んでいます。

2010年には、こんぶくろ池公園が「関東・水と緑のネットワーク拠点100選」に選出。2012年には、「第32回緑の都市賞」において、こんぶくろ池公園の整備を含む「市民との協働による緑ある街づくり」が評価され、柏市が最優秀賞となる内閣総理大臣賞を受賞しました。

### ■柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会について

柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会は、開発が進む柏の葉キャンパスエリアにおいて、地域の住民や企業・団体が主体となって、地域活性化、生活環境の維持・向上を目指し、「地域課題の解決」に取り組むことを目的に、2011年7月に発足しました。住民組織と企業・団体が協力し合うことで、防犯・防災や街の美化、街の活性化など、単独では困難な、より幅の広い地域レベルでの活動を進めています。柏の葉キャンパス一番街町会、パークシティ柏の葉キャンパス二番街管理組合、京葉銀行、辻仲病院柏の葉、ららぽーと柏の葉、柏の葉アーバンデザインセンター、三井不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社から構成されています。

#### 【報道関係の方のお問い合わせ先】

「公園サポートプロジェクト」広報(ブラップジャパン)  
担当: 山中・蛭川  
TEL: 03-4580-9104 E-MAIL: y-yamanaka@prap.co.jp

#### 【一般の方のお問い合わせ先】

こんぶくろ池管理事務所  
担当: 古橋  
TEL: 04-7132-8800 E-MAIL: furuisao@jcom.home.ne.jp